

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

アスター

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
苗立枯病 (リゾクト ニア菌)	生育期	・ 次の薬剤を土壌灌注する。 リゾレックス水和剤 500～1000倍 3L/m ²	
灰色かび 病		・ 発生を見たら次の薬剤のいずれ かを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすい ので連用しない。
アブラム シ類		・ 発生を見たら次の薬剤のいずれ かを散布する。 アドマイヤーフロアブル* 2000倍 オルトラン水和剤* 1000～1500倍 ロディー乳剤* 1000倍	
ウリハム シ		・ 発生を見たら次の薬剤を散布する。 スミチオン乳剤 1000倍	
その他の病害虫		うどんこ病、斑点病、菌核病、半身萎凋病	

アスパラガス(観賞用)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
茎枯病		・ 発生を見たら次の薬剤を散布する。 トップジンM水和剤㊟ 500～1000倍	
灰色かび 病		・ 発生を見たら次の薬剤のいずれ かを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすい ので連用しない。
アザミウ マ類		・ 発生を見たら次の薬剤を散布する。 オルトラン水和剤* 1000～1500倍	

アンズリウム

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
根腐病		・ 発生を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 600倍	
アザミウ マ類		・ 発生を見たら次の薬剤を散布する。 オルトラン水和剤* 1000～1500倍	
その他の病害虫		炭疽病、コガネムシ類	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

インパチエンス

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
リゾクトニアによる立枯性病害		・ 次の薬剤を土壌灌注する。 リゾレックス水和剤* 500～1000倍 3L/m ²	
灰色かび病		・ 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
べと病		・ 発生を見たら次の薬剤を散布する。 オロンディスウルトラSC 2000～3000倍	
アザミウマ類		・ 発生を見たら次の薬剤を散布する。 オルトラン水和剤* 1000～1500倍	
その他の病害虫		斑点病	

キンギョソウ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
菌核病		・ 次の剤を散布する。 トップジンM水和剤㊟△*1500倍	△無機銅との混用はさける。
灰色かび病		・ 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 フルピカフロアブル20* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
その他の病害虫		疫病、葉枯病、炭疽病	

キンセンカ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病		・ 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 パンチョT F 顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシンAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは薬害を生じるおそれがあるので注意する。
菌核病		・ 次の剤を散布する。 トップジンM水和剤㊟△*1500倍	△無機銅との混用はさける。耐性菌を生じやすいので連用しない。

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物 (花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)
(キンセンカ)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病		<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 セイビアーフロアブル 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍 	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
半身萎凋病		<ol style="list-style-type: none"> 1. 土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。 2. 次の薬剤を予防的に散布する。 トップジンM水和剤㊟ 1500～2000倍	
その他の病害虫		疫病	

ケイトウ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
苗立枯病		<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤で種子消毒する。 ホームイ水和剤㊟ 200倍液 30分浸漬 種子重量の1%粉衣 	
輪紋病 ・ 茎腐病		<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤を散布する。 トップジンM水和剤㊟ 1500～2000倍 	
アブラムシ類		<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤーフロアブル* 2000倍 オルトラン水和剤* 1000～1500倍 ロディー乳剤* 1000倍 	
シロオビノメイガ	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を散布する。 カスケード乳剤 2000倍 ノーモルト乳剤 2000倍 	
その他の病害虫		モザイク病(CMV)、茎枯病、黒斑病、根腐病	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

コスモス

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
そうか病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 600倍	
白斑病		・発病初期に次の薬剤を散布する。 マネーヅ乳剤 1000倍	梅雨明け後～夏季にかけて発生しやすい。
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 パンチョT F 顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシンAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは薬害を生じるおそれがあるので注意する。
その他の病害虫		半身萎凋病、白絹病、軟腐病、モザイク病	

サンダーソニア

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
白絹病		・発生を見たら次の薬剤を株元に散布する。 モンカットフロアブル40* 1000～2000倍	
その他の病害虫		疫病、灰色かび病、根腐病、立枯病、ロビンネダニ	

シネラリア(サイネリア)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 パンチョT F 顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシンAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは薬害を生じるおそれがあるので注意する。
褐斑病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 600倍	
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤⊕●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
シンクイムシ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 スミチオン乳剤 1000倍	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

シャクヤク

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病	生育期 (萌芽期)	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍 ポリオキシシリンAL水溶剤* 2500倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 パンチョTF顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシリンAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは薬害を生じるおそれがあるので注意する。
根黒斑病	植付前	1. 土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。 2. 次の薬剤に苗基部を浸漬処理する。 ベンレート水和剤㊟ 20倍10分間 500倍16時間	
ネコブセンチュウ		・土壌消毒をする(土壌消毒の項参照)。	
その他の病害虫		褐斑病、菌核病、白紋羽病、灰色かび病、斑葉病、コウモリガ、ハガレセンチュウ	

宿根アスター

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
斑点病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 ダコニール1000* 1000倍	
シロイチモジヨトウ		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 カスケード乳剤 2000倍	
ハモグリバエ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アクタラ顆粒水溶剤 2000倍 アフアーム乳剤* 1000倍	
その他の病害虫		白絹病、菌核病	

スイセン

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
球根腐敗病	植付前	1. 土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物 (花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)
(スイセン)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
球根腐敗病	植付前	2. 次の薬剤のいずれかを球根処理する。 ホームイ水和剤⑤ 粉衣:球根重量の1.0% 浸漬:200倍液に30分間 ホームイコート(水)⑤ 粉衣:球根重量の1%	
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤーフロアブル* 2000倍 オルトラン水和剤* 1000~1500倍 ロディー乳剤* 1000倍	
クキセンチュウ	植付前	1. 連作をさける。 2. 球根を50℃の温湯に20~30分間浸漬する。	チューリップ、ヒヤシンスなどにも発生する。
その他の病害虫		白絹病、灰かび病、斑点病、ネダニ類	

スイートピー

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
腰折病	定植前	・次の薬剤を土壌混和する。 リゾレックス粉剤 50kg/10 a	
	生育期	・発生を見たら初期に次の薬剤のいずれかを施用する。 リゾレックス水和剤 500~1000倍 3L/㎡土壌灌注 オーソサイド水和剤80 600倍	
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤⑤●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000~3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 トリフミン水和剤●* 3000倍 ポリオキシシリンAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000~3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは葉害を生じるおそれがあるので注意する。

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物

その他の花き類・観葉植物 (花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)
(スイートピー)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤーフロアブル* 2000倍 オルトラン水和剤* 1000～1500倍 ロディー乳剤* 1000倍	
ハモグリバエ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アクタラ顆粒水溶剤* 2000倍 アファーム乳剤* 1000倍	
その他の病害虫		炭疽病	

スターチス

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 サンヨール# 500倍 フルピカフロアブル 2000～3000倍 ロブラール水和剤● 1000～1500倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 #使用時期は開花前まで。また高温時の使用は薬害が生じるおそれあり。
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 サンヨール# 500倍 パンチョTF顆粒水和剤●* 2000倍 フルピカフロアブル 2000倍	#使用時期は開花前まで。また高温時の使用は薬害が生じるおそれあり。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンヨール# 500倍	#使用時期は開花前まで。高温時の使用は薬害生じるおそれあり。
ハスモンヨトウ	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 カスケード乳剤 2000倍	
コガネムシ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 スミチオン乳剤 1000倍	
	幼虫発生初期	・次の薬剤を株元に散布する。 オルトラン粒剤☆ 6 kg/10 a	☆宿根スターチスのみ
ハダニ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンヨール# 500倍	#使用時期は開花前まで。高温時の使用は薬害生じるおそれあり。
その他の病害虫		炭疽病、褐斑病、褐紋病、株腐病、白絹病	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物

その他の花き類・観葉植物（花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる）

ゼラニウム

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊦● 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
斑点病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 ゲッター水和剤㊦ 1000倍	
黒根病	育苗期	・発生を見たら次の薬剤を、セルトレイ（60×30cm）1冊あたり500ml灌注する。 ベンレート水和剤 2000倍	
コナジラミ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 ディアナSC * 2500倍	
その他の病害虫		褐斑病、茎腐病、立枯病、アブラムシ類、アザミウマ類	

センニチコウ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
斑葉病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 600倍	

デルフィニウム

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病		・次の薬剤のいずれかを散布する。 パンチョT F 顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシNAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは薬害を生じるおそれがあるので注意する。
シクラメンホコリダニ		・次の薬剤を散布する。 カネマイトフロアブル 1000～1500倍	

ニチニチソウ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊦●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
その他の病害虫		モザイク病（CMV）、疫病、くもの巣かび病	

*：花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

バーベナ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 パンチョT F 顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシソールAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000～3000倍 ダコニールアルファ 2000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは薬害を生じるおそれがあるので注意する。
ハダニ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 ロディー乳剤* 1000倍	
その他の病害虫		菌核病	

ハボタン

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 オロンディスウルトラSC 2000～3000倍	
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 ベニカS乳剤 200～400倍	
カメムシ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 ベニカS乳剤 200倍	
コナガ		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 カスケード乳剤 2000倍	
ヨトウムシ類		・次の薬剤のいずれかを散布する。 アファーム乳剤* 1000倍 ノーモルト乳剤* 2000倍	
その他の病害虫		萎黄病	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

パンジー(ビオラ)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
疫病	鉢上げ時	・次の薬剤を土壌混和する。 ユニフォーム粒剤* 0.25~0.5g/g(土1L)	ポット・プランター等の容器栽培に適用
		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 オロンディスウルトラSC* 2000~3000倍	
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 サンヨール# 500倍 パンチョTF顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシンAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000~3000倍	#使用時期は開花前まで。また高温時の使用は葉害が生じるおそれあり。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは葉害を生じるおそれがあるので注意する。
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフエットフロアブル* 2000倍 ゲッター水和剤◎●* 1000倍 サンヨール# 500倍 フルピカフロアブル* 2000~3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 #使用時期は開花前まで。また高温時の使用は葉害が生じるおそれあり。
根腐病	育苗期	・発生を見たら次の薬剤を、セルトレイ(60×30cm)1冊あたり500ml灌注する。 ベンレート水和剤◎ 2000倍	
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤーフロアブル* 2000倍 オルトラン水和剤* 1000~1500倍 サンヨール# 500倍 ロディー乳剤* 1000倍	#使用時期は開花前まで。また高温時の使用は葉害が生じるおそれあり。
ハダニ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンヨール# 500倍	#使用時期は開花前まで。また高温時の使用は葉害が生じるおそれあり。
その他の病害虫		黒かび病、黒斑病、立枯病、斑点病、モザイク病	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

ヒマワリ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 パンチョT F 顆粒水和剤●*2000倍 ポリオキシシAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000~3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは薬害を生じるおそれがあるので注意する。
斑点病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 ゲッター水和剤㊦ 1000倍	
べと病・黒斑病		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 600倍	
空洞病		・次の薬剤を予防的に散布する。 ドイツボルドーA500倍	
タバコガ		・次の薬剤を散布する。 オルトラン水和剤 1000倍	
その他の病害虫		ブタクサハムシ、アワダチソウグンバイ	

ヒヤクニチソウ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 パンチョT F 顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシAL水溶剤* 2500倍 モレスタン水和剤△* 2000~3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 △モレスタンは薬害を生じるおそれがあるので注意する。
苗立枯病		・発生の初期に次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80* 600倍	
ハダニ類	発生初期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ニッソラン水和剤* 2000~3000倍 ロディー乳剤* 1000倍	
その他の病害虫		モザイク病	

斑入りアマドコロ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
褐色斑点病・斑点病		・発病を見たら次の薬剤を散布する。 ジマンダイセン水和剤 400倍	
斑点病		・発病を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 600倍	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

フリージア

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
菌核病	植付前	1. 客土畑では客土の厚さ20cm以上とする。 2. 連作をさげ、輪作畑では次の薬剤で土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。 NCS 5mL/1穴	病原菌の菌核は豪雨などにより下流の畑に広がる。 多発畑では掘り残しの木子などによって2年間以上生存する。 水田地帯ではNCSの代かき処理も有効である。
	生育期	1. 発病株は早めに処分する。 2. 次の薬剤を散布する。 トップジンM水和剤⑤* 1500倍	
白絹病	植付前	・土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。	
	生育期	1. 発病株は早めに処分する。 2. 発生を見たら次の薬剤を株元に散布する。 モンカットフロアブル40* 1000~2000倍	
首腐病	植付前	1. 土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。 2. 無病の球根を導入する。	10月下旬~1月上旬に発生する。 連続降雨や早植え・多植栽培が発生を助長する。
	生育期	・発病株は抜き取り処分する。	
球根腐敗病	植付前	1. 白絹病の項に準じて土壌消毒する。 2. 植付用木子は次のいずれかの方法で消毒する。 ホーマイ水和剤⑤ 200倍30分浸漬 球根重の1%粉衣	
モザイク病	生育期	1. 発病株は抜き取って処分し、発病の疑いのある株から木子をとらない。 2. アブラムシ類を防除する。	病原ウイルスはインゲンマメ黄斑モザイクウイルス(BYMV)が多い。
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤーフロアブル* 2000倍 オルトラン水和剤* 1000~1500倍 ロディー乳剤* 1000倍	
その他の病害虫		ネダニ類	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物 (花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

ペゴニア

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
キンケクチブトゾウムシ幼虫	生育期	1. 次の薬剤を株元に散布する。 ガゼット粒剤 1～2g/株	
その他の病害虫		うどんこ病、斑点細菌病	

ペチュニア

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
うどんこ病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロケア水* 1000倍 サンヨール(乳) # 500倍 パンチョT F顆粒水和剤●* 2000倍 ポリオキシシリンAL水溶剤* 2500倍	#使用時期は開花前まで。また高温時の使用は薬害が生じるおそれあり。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 サンヨール# 500倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 #使用時期は開花前まで。また高温時の使用は薬害が生じるおそれあり。
アブラムシ類	定植前	・次の薬剤を培土混和する。 ベストガード粒剤* 3～5g/培土1L	
	定植時	・次の薬剤を植穴土壌混和する。 アドマイヤー1粒剤 1g/株(但し、3kg/10aまで)	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンヨール# 500倍	#使用時期は開花前まで。高温時使用は薬害が生じるおそれあり。

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

(ペチュニア)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ナメクジ類	開花前まで	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンヨール# 250～500倍 サンヨール液剤AL 原液	#使用時期は開花前まで。高温時使用は薬害が生じるおそれあり。
ハダニ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 サンヨール# 500倍	#使用時期は開花前まで。高温時使用は薬害が生じるおそれあり。
その他の病害虫		こうがいかび病	

ホオズキ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
斑点細菌病	発病初期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アグリマイシン-100 1000倍 カスミンボルドー 1000倍 銅パーシン水和剤 1000倍 マテリーナ水和剤 1000倍	
軟腐病	発病初期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 カスミンボルドー 1000倍 銅パーシン水和剤 1000倍	
半身萎凋病	植付前	・土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。	
	生育期	・次の薬剤を予防的に散布する。 トップジンM水和剤⑤ 1500～2000倍	
アザミウマ類		・次の薬剤を散布する。 アベンジャーフロアブル 2000倍	
カメムシ類		・次の薬剤を散布する。 アディオオン乳剤* 2000倍	
タバコガ		・次の薬剤を散布する。 カスケード乳剤 2000倍	
チャノホコリダニ		・次の薬剤を散布する。 ピラニカEW 2000倍	

ボタン

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
根黒斑病	植付前	1. 土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。 2. 次の薬剤を苗基部浸漬処理する。 ベンレート水和剤④ 20倍液に10分間 500倍液に16時間	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

マリーゴールド

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000~3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
ハモグリバエ類	発生初期	・次の薬剤を散布する。 アフーム乳剤* 1000倍	
ネキリムシ類	生育初期	・次の薬剤を株元に散布する。 ガードベイトA(粒)* 3kg/10a	

ミヤコワスレ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
根腐病		・発病を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 600倍	

ルスカス

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病		1. 施設内の過湿に留意し、発病枝はただちに除去する。 2. 発生を見たら初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000~3000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
アブラムシ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤーフロアブル*2000倍 オルトラン水和剤* 1000~1500倍 ロディー乳剤* 1000倍	
その他の病害虫		こうじかび病、褐斑細菌病、カイガラムシ類	

レザーフアン

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アザミウマ類	生育期	・次の薬剤を株元土壌混和する。 アドマイヤー1粒剤 1g/株(但し、3kg/10aまで)	
アブラムシ類	生育期	・次の薬剤を株元散布する。 アドマイヤー1粒剤 2g/株(但し、6kg/10aまで)	
その他の病害虫		さび病、コガネムシ類、ホコリダニ類	

*:花き類・観葉植物での登録

その他の花き類・観葉植物